

「何事も全力で」(南野)

はじめまして。1月に入社しました南野美和子と申します。

以前の仕事で経理を経験していた事もあり、さらに奥深く勉強したいと思い入社させていただきました。新しい事を学ぶのはとても大変ですが、それがまた新鮮で、毎日頭がカッチカチになりますが自分のペースで進んでいきたいと思えます。

私は、健康と体力に自信がありますが少しずつ体力の衰えを感じ始めたので、昨年約30年ぶりに水泳に通い始めました。週に2、3回スクールで泳いでいますが、新たにチャレンジしようと先月大会に出場してきました。当日会場は歓声と活気に溢れ、中でもリレーは大変盛り上がりしました。27団体、計550名程の参加者の中、福知山の団体は3位に入賞することができました。何事も全力で取り組む中で得るものがあることに改めて気づき、参加して本当によかったと思えました。

今後も仕事も趣味も全力で楽しみたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



知っところ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【オフィスに飾る絵画は経費で処理できる？】

「オフィスに飾るため絵画を購入しようと考えています。絵画は経費として処理してよいのでしょうか？」という質問がありました。事業などの業務のために用いられる10万円以上の資産で、建物や備品など時間の経過によってその価値が減っていくものを「減価償却資産」といいます。しかし絵画や彫刻などの美術品は、原則として1点につき100万円未満であるものを減価償却資産、100万円以上のものを非減価償却資産として取り扱います。ただし、非減価償却資産であっても「不特定多数の者が利用する場所の装飾用や展示用のもの」「移設困難でその用途のみに使用されるもの」「設置、使用状況からして市場価値が見込まれないもの」など、時間の経過により価値が減少することが明らかなものは減価償却資産、逆に減価償却資産でも価値が減少しないことが明らかなものは非減価償却資産として取り扱われるため注意が必要です。金属製の彫刻などは15年、それ以外の彫刻や絵画、陶磁器などは8年で償却します。



世界の偉人伝

今月の偉人：【シュレーディンガー】

エルヴィン・シュレーディンガーは「波動方程式」を提唱したオーストリア出身の物理学者です。ウィーンの教養高い両親の下に生まれ、進学校では自然科学のみならず詩や哲学など幅広く学びました。ウィーン大学で物理学を専攻した後、ドイツやスイスなど数々の大学で研究、講義を続け、1933年にはオクスフォード大学でノーベル物理学賞を受賞しました。「シュレーディンガーの猫」の思考実験は量子力学の不完全性を説いたものです。哲学的な洞察力で物理学に貢献した人でした。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【fool】

エイプリルフール (April Fools' Day) が「4月バカ」と訳されるように“fool”は名詞で「バカ者・笑い者」、動詞で「バカなまねをする・ふざける」という意味です。“Don't make a fool of me!”は「バカにしないで!」、 “Stop fooling around!”は「ふざけるな(いいかげんにしろ)!」です。“Who are you trying to fool?”は「誰をだまそうとしているの?」と、反語的な「自分はだませないわよ」という2つの意味があります。“fool around with 人”で「～と浮気をする」という意味があります。



今月のトピック：【紙の手帳】

紙の手帳の需要が伸びています。スケジュール管理はスマホのアプリに任せても、中長期的な計画や振り返り、思考の整理に、多くの人が紙の手帳を活用しています。さらに趣味や推し活を記録して楽しむライフログ専用の手帳も多く登場して人気です。AIが日常生活を指南する時代。行動や感情の手書きが生きた証になるのかもしれませんが。



才人の言葉

これで生きてんだ

演芸番組『笑点』の司会を務めた落語家である桂歌丸の言葉。今の仕事がつらいと思ったら「これで生きてんだ」「これで食ってんだ」と自分自身を励ませばいい。

ハンバーグをこねた後に手が脂でベタベタしたときは、石けんで洗う前に小さじ1杯の砂糖を手に取り、砂糖が体温で少ししっとりするまで両手を擦り合わせ、指の間や爪の周りまでしっかりなじませます。その後ぬるま湯で洗い流せば脂汚れがすっきりと落ちます。



振り向けば あそこにも ここにも 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【変えられるのは自分だけ】

従業員のやる気がない。覇気がない。叱咤激励を繰り返しても結果は思わしくない。このような経験はありませんか？精神科医ウィリアム・グラッサーが提唱した選択理論心理学は、この悪循環に明快な答えを示します。それは「他人は変えられない。変えられるのは自分だけ」という原則です。選択理論によれば、私たちの全行動は「行為」「思考」「感情」「生理反応」の4つの要素で構成されています。朝、デスクを整理するのが「行為」。これで今日も良い一日になると考えるのが「思考」。そこから生まれる前向きな気持ちが「感情」。前向きな気持ちで背筋が伸びるのが「生理反応」です。この4つのうち自分が直接、コントロールできるのは「行為」と「思考」だけです。残りの「感情」と「生理反応」は行為や思考の結果として自然に生じるものなので直接、コントロールしづらい要素です。優れた経営者は「物事にはコントロールできるものとできないものがある」ことをよくわかっています。直接、コントロールできない従業員のやる気を何とかしようとする代わりに、自らの「行為」と「思考」を変える努力をします。指示の出し方、対話の質、環境づくりといった「自分がコントロールできること」に集中するのです。自分が変われば結果として周囲も変わり始めます。これは相手を変えたのではなく、自分の変化が相手に新たな選択肢を提示したからにほかなりません。「なぜやる気がないのか？」という思考を「私は関わり方をどう変えられるか」にシフトする。この発想の転換こそが組織を動かす鍵となり、従業員のやる気を促すのです。



トナりの本棚

【僕には鳥の言葉がわかる】

生物学者で動物言語学を開拓した第一人者でもある鈴木俊貴の書籍。書店員が選ぶノンフィクション大賞に選ばれた臨場感とワクワクを楽しめる一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎